

2015年7月

第58号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

日韓国交50年

1995年6月22日、戦後14年に及んだ日韓正常化交渉が進展し日韓基本条約が締結された。その主な内容は、請求権・経済協力協定では、日本が無償・有償計5億ドルの経済協力を約束し、請求権問題は「完全かつ最終的に解決された」と明記された。

韓国はこの資金を浦項総合製鉄の設立や、ソウルと釜山を結ぶ高速道路の建設に注ぎ、さらに日本からの投資や技術移転なども加わって、後に「漢江（ハンガン）の奇跡」と呼ばれる韓国の飛躍的な経済成長に結びつけた。

【日韓50年の変遷】

項目	日本		韓国		
	1965年	2014年	1965年	2014年	
国民総生産		(49倍)		(455倍)	
	総額	960 億ドル	4兆6,723 億ドル	31 億ドル	1兆4,100 億ドル
輸出額	うち対日韓	1.7 億ドル	99.4 億ドル	0.5 億ドル	343.7 億ドル
	総額	84 億ドル	6,961 億ドル	1.8 億ドル	5,726 億ドル
輸入額	うち対日韓	0.4 億ドル	327.2 億ドル	1.7 億ドル	52.5 億ドル
	総額	81 億ドル	8,181 億ドル	4.6 億ドル	5,225 億ドル
旅行入国者数	うち対日韓	1.7 万人	275.5 万人	0.5 万人	228 万人
	総人員	36.6 万人	1,341.3 万人	3.3 万人	1,420.1 万人

現在、日韓関係が「歴史認識問題」「歴史教科書問題」「従軍慰安婦問題」「竹島領土問題」などでギクシャクしているが、これは植民地支配終了後直ちに生まれたものではなく、80年代後半から90年代に生まれ増幅されてきている。

その要因は経済的にも安全保障上の問題でも相対的に日本への依存度が低下し日本が韓国を助ける「垂直」関係から、パートナーとして競争し協調する「水平」関係になり韓国の対等意識に加え政治面で民主化意識が強まり様々な要求が顕在化してきている。

2012年8月李明博大統領が竹島に上陸、その4日後には「(天皇が韓国を)訪問したいなら独立運動で亡くなった方々を訪ねて謝罪するよう」に発言。13年2月に朴槿恵政権誕生で関係が改善するとの期待があったが、朴大統領も、植民地支配の加害者と被害者の立場について「千年の歴史が流れても変わらない」と述べ、さらに「つげ口外交」を展開するなど関係悪化に拍車をかけた。

22日には日韓両国で「日韓50年式典」が開催され安倍総理も朴大統領も両国が双方にとって未来志向で関係改善に取り組む意欲を見せた発言があり、これを契機として冷え切った関係の立て直しを図っていただきたい。

一流の人は明るい人である

平澤 興 語録より

金剛流の「高砂」を見て感じた、それは命がけで能を舞っているということである。

その緊張の中に大らかさと安らぎがある。

その間30分くらいであったろうか、汗びっしょりかいて生命がけで舞っているのである。私は久しぶりに感心した。それも悲壮感ではなくて、緊張感の中にやすらぎを見たように思うのである。

私の見方が変わった、深くなった。

年をとって、あまりかしこそうでは一人前ではない。

相手にもじぶんにも緊張を与えるようでは、まだまだで、窮屈である。

有名になることは、それ程むつかしいことではない。

しかし、本物になることはむつかしい。

習慣的に規則正しい生活をする。

気楽にやっておるが、自然の形にはまっている。

むりのない生活がよろしい。

良い習慣を創る。あまり意識している間はまだ駄目だ。

ただなんとなくやっているが、それは極めて自然であることが良い。

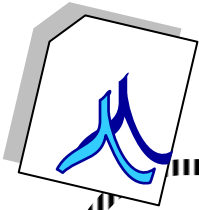
生活は習慣の織物である。

大人(たいじん)は日に新たに、日々に新たに成長するものである。

それが体についている。体で覚えこんでいるのである。

素直さとは、具体的にはとらわれないということである。

今日一日の無事は、自分以外のみなさんのおかげであり、与えられた天の恵である。



アーネスト・ヘミングウェイ (米国の作家・詩人)

- 1899年7月21日 アメリカ西部シカゴ近郊のイリノイ州オークパークで父は医師、母は元声楽家の下で6人兄弟の長男として生まれる。
小学生の頃、小説を読むのが大好きでした。
- 1913年 高校に入学。水泳・陸上・ボクシング・射撃などで大活躍。最も得意なのは射撃。
また、校内新聞に記事を書いたり校内文芸誌に短編小説を発表する。
高校卒業後、地方新聞社の見習い記者となり、簡潔な文章を書く事と、事件発生の際は自分の目と耳で事実を確認することを重視しました。
- 1918年 赤十字の輸送部隊に志願兵として参加。
- 1921年12月 パリでの生活。著名作家・詩人たちと交流。
- 1926年 長編小説「陽はまた昇る」を発表。名が大きく広まる。
- 1929年 2作目長編小説「武器よさらば」が大ベストセラーとなる。
- 1939年 ノルマンディ上陸作戦後の連合軍に戦場通信員として、時には戦闘にも参加した。
- 1952年 歴史的傑作「老人と海」を発表。ピューリッツァー賞受賞。
- 1954年 ノーベル文学賞受賞。
- 1961年 体調不良・うつ病でライフルによる自殺。享年62歳。

オススメの BOOK



『ど・スピリチュアル日本旅』

作者 たかの てるこ 幻冬舎

著者は旅人・エッセイストだ。OLから2011年にフリーに。これまで世界を通算60カ国の旅をした。

そんな著者が「海外を旅すればするほど、日本を好きになっていく自分がいた。人類が宇宙に出て初めて地球の青さを実感したように、外に飛び出さないとわからないことがある」と述べ、日本国内の旅に出た。

「高野山」「伊勢神宮」北海道のアイヌ民族のシャーマン、沖縄の島々・ユタを訪ね、様々な体験をしてゆく、読んでいるうちについ自分が旅をしているような錯覚にとらわれ楽しい書物である。

くらしと保険のおはなし

家計を見直しましょう！

消費税増税や輸入物価の上昇によって家計への負担は増えており、計画的な家計管理の必要性が高まっています。

多くの家庭では、既に何らかの節約を心がけていると思います。とはいえ、食費や光熱費の節約には限界があります。それよりも毎月決まった支出の固定費の方が節約効果は高いといえます。

家計への影響が大きいのはスマートフォンなどの通信費です。家族割引や利用状況に合った料金プランを選んで少しでも安く利用したいものです。5月から他の携帯電話会社の端末で使えないようにするSIMロックの解除が義務付けられましたので、通信料の安い会社への変更も考えられるようになりました。

保険料にも、まとめて払うと割引になる仕組みがあります。まとめ払いは一度手続きすると節約効果が長く続くのがメリットです。

また、固定費の金額が大きい住宅ローンは現在金利が過去最低水準なので、借入れた時期や金利によっては、借換えて毎月の返済額や返済総額を下げられることがあります。

細かいことでは、銀行等預金引き出しの際のATM利用手数料の節約も考えましょう。それから、振込手数料はインターネットバンキングを利用したり、銀行の会員サービスに加入したりすると無料もしくは安くなることが多いので、家賃などの毎月決まった振込みがある人は利用すると節約になります。



7/1 オープン
仙台うみの杜水族館

＜まとめ払いの節約効果＞



■生命保険料

年払いにすると月払いの11.5カ月分になるケース

*月払いの年額＝24万円(2万円×12カ月)

*年払いの場合＝23万円(2万円×11.5カ月)

↑
年1万円の節約(保険会社、契約、種類によって異なる)

■地震保険料

1年契約の保険料を1(3万円)とすると

契約年数	1年	2年	3年	4年	5年
係数	1	1.9	2.75	3.6	4.45
保険料 支払額	30,000円	57,000円	82,500円	108,000円	133,500円
節約額	0円	3,000円	7,500円	12,000円	16,500円

↑
1年あたり3,300円の節約

■国民年金保険料(2015年度、口座振替の場合)

支払方法	毎月払	6ヵ月前納	1年前納	2年前納
保険料	15,590円	92,480円	183,160円	366,840円
割引額	0円	1,060円	3,920円	15,360円

↑
1年あたり7,680円の節約

※15年度の6ヵ月(4～9月)、1年、2年前納の受付は締め切られている

※16年度の国民年金保険料は月16,260円

■住宅ローンの金利による返済額の違い

ローン借入額2,000万円で返済期間20年の例

金利	毎月の返済額	年間の返済額	返済総額
2.4%	105,000円	126万円	2,520万円
1.8%	99,300円	119万円	2,380万円
1.2%	93,800円	113万円	2,260万円

※金額は概算 返済総額は全期間固定金利の場合

家計を見直すことで、支出を抑えると同時に将来まとまった資金が必要になる住宅購入・リフォームや子どもの大学進学などのイベントに備え計画的に貯蓄することが大切です。

【編集後記】

6月17日選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引下げられた。70年ぶりの改正である。

これによって有権者約240万人が新たに加わるようになった。高齢化が進み高齢者の有権者割合が増加してきており有権者の世代別構成がアンバランスとなっていたこと、世界の選挙権年齢は18歳以上が主流となっていることからすれば良かったと思う。

若い世代が自分に与えられた一票の重みを噛み締め積極的に投票所に足を運んで欲しい。